

## Press Release

【報道関係各位】

2026 年 1 月 8 日  
ポーラ美術館

## 日常のエレガンス — 西洋近代の化粧セット

パウダーボックス、マニキュアセット、香水瓶、鏡、ブラシなど  
19 世紀から 20 世紀にかけての希少な化粧道具を展示

ポーラ美術館（神奈川県・箱根町）は「日常のエレガンス — 西洋近代の化粧セット」を開催中です。19 世紀から 20 世紀にかけての西洋の化粧道具に焦点を当て、その美しさと機能性の変遷をたどります。

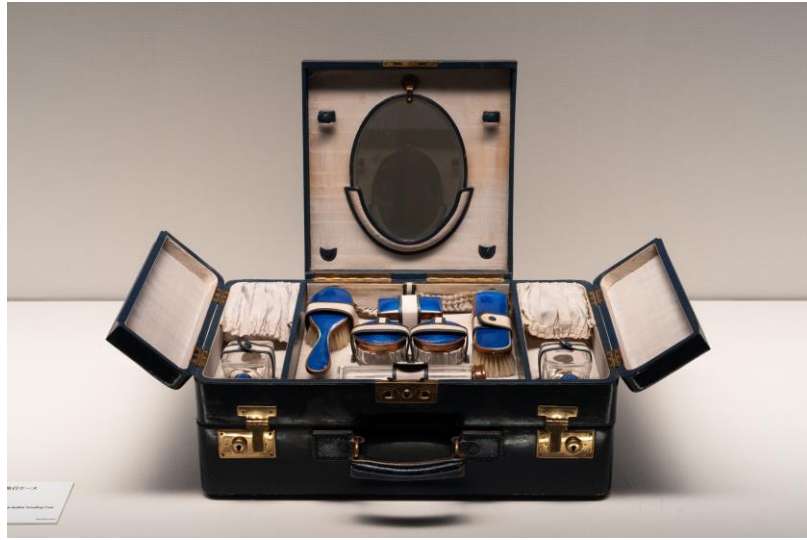


《ローズ色ガラス化粧セット》1940 年頃 Photo: Ken Kato

本展では、ポーラ美術館のコレクションより各時代を象徴する化粧セットを中心に、パウダーボックス、マニキュアセット、香水瓶、鏡、ブラシなど、装飾性と実用性を兼ね備えた品々を紹介しています。19 世紀後半から 20 世紀初頭のベル・エポックに流行したアール・ヌーヴォー様式の優美で華やかな化粧セットや、20 世紀前半に登場した機能性を重視したアール・デコ様式の携帯用化粧セットやコンパクトなど、時代の美意識を感じていただける内容です。

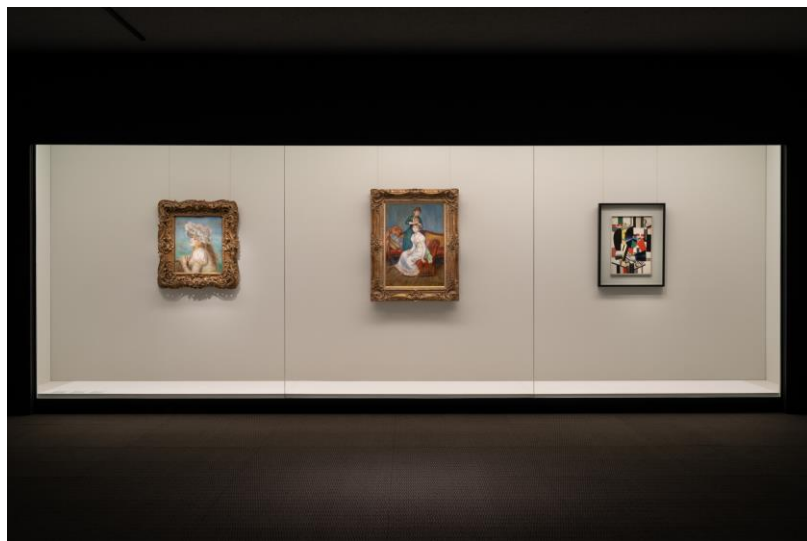
左：《あやめ文銀製化粧セット》ゴールドスミス・アンド・シルヴァースミス 1903-1907 年 Photo: Ken Kato  
右：《花文銀製マニキュアセット》トリーチャー 19 世紀末 Photo: Ken Kato

また 19 世紀から 20 世紀にかけて、鉄道や自動車などの移動手段の発達により、休日を郊外で過ごすレジャーや旅が人々の生活に定着しました。こうした社会の変化が化粧文化にもたらした影響についてもご紹介します。



《青革製旅行ケース》1930 年代頃 Photo: Ken Kato

本展では、同時代に活躍したピエール・オーギュスト・ルノワール、フェルナン・レジェが女性を描いた絵画もご覧いただけます。本展を通じて、化粧道具の背後にある時代や社会、人々の感性や生活の一端に触れていただけたら幸いです。



「日常のエレガンスー西洋近代の化粧セット」展示風景 Photo: Ken Kato

左：ピエール・オーギュスト・ルノワール《レースの帽子の少女》1891 年

中：ピエール・オーギュスト・ルノワール《髪かざり》1888 年 右：フェルナン・レジェ《鏡を持つ女性》1920 年

## ■ 展覧会概要

「日常のエレガンスー西洋近代の化粧セット」

会期：2025 年 12 月 13 日（土）～2026 年 5 月 31 日（日） 会期中無休

会場：ポーラ美術館 展示室 4

展覧会特設サイト：<https://www.polamuseum.or.jp/exhibition/20251213c03/>

## ■ 同時開催

「SPRING わきあがる鼓動」

会期：2025 年 12 月 13 日（土）～2026 年 5 月 31 日（日） 会期中無休

会場：ポーラ美術館 展示室 1、2、3

展覧会特設サイト：[https://www.polamuseum.or.jp/sp/spring\\_rising/](https://www.polamuseum.or.jp/sp/spring_rising/)

## ■ ポーラ美術館について

2002 年に「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに神奈川県箱根町に開館。印象派から 20 世紀にかけての西洋絵画を中心としたコレクションを核とする展覧会を開催する一方で、現代美術の第一線で活躍する作家たちの作品も収集・展示し、同時代の表現へと展望を拡げている。富士箱根伊豆国立公園という立地を生かした森の遊歩道では四季折々の豊かな自然を楽しむ。

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

休館日：会期中無休

所在地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285

TEL：0460-84-2111

入館料：大人 ¥2,200／大学・高校生 ¥1,700／中学生以下無料／障害者手帳をお持ちのご本人及び付添者（1 名まで）¥1,100 ※すべて税込 団体割引あり

公式 Web サイト：<https://www.polamuseum.or.jp/>

## ＜本件に関するお問い合わせ先＞

ポーラ美術館 広報担当：小野、稲見 TEL:0460-84-2111

ポーラ美術館広報事務局：小沢、岩崎 TEL:03-5572-7351（株式会社プラチナム内）

E-mail: polamuseum-pr@vectorinc.co.jp